

麻疹(はしか)に注意しましょう！

東京都と神奈川県を中心に流行しています。麻疹ウイルスの特徴は、主にヨーロッパで大きな流行となっている D4 型、東南アジアで流行している D9 型などの海外由来の遺伝子型であることが分かってきています。ワクチンをまだ接種していないで、麻疹にかかったことがない場合は**予防接種を受けましょう**。

主な症状

38℃程度の発熱や風邪の症状から始まり、3 日程度の熱のあとに目の充血のほか目ヤニ、口の中が赤くなります。やがてほほの内側に白濁したブツブツ(コプリック斑)ができ、一度下がるかに見えた熱が再び上がり 39 度以上の高熱と同時に赤い発疹が出ます。発疹は耳の後部や首のあたりから始まり、上から下に向かって全身に広がります。発疹はお互いに重なり合って地図状に広がり、色もどす黒くなります。全体で 10 日から 12 日程度の経過をたどります。



コプリック斑



顔面の発疹

【画像・イラスト: 国立感染症研究所感染症情報センター】

合併症

気管支炎、中耳炎、下痢や重症になると肺炎、脳炎などの合併症を起こすことがあります。又、脱水症にも注意しなければなりません。乳幼児特に 1、2 歳の子どもにかかりやすい感染症ですが、大人がかかると重症化するケースが多いようです。

感染経路

空気感染のほかに、患者の咳を吸い込む飛沫感染や接触感染など色々な感染経路で広がり、初期症状の時が最も感染力が強く、解熱後 3 日間は感染します。

潜伏期間

感染して症状があらわれるまでの潜伏期間は 9～11 日間です。